

シーカヤック体験教室開催される 穏やかな山田湾を悠々探索

7月13日、山田湾を舞台にシーカヤック体験教室が開催されました。これは、今後の観光の目玉となるシーカヤックを体験してもらおうと町が主催したものです。会場となった浦の浜地区に集まった参加者17人は、事前講習の後一斉に船出。当日は波が少ない絶好のツーリング日和で、参加者らはゆっくりとした速度で湾内の景色を満喫しました。オランダ島に到着した参加者は「波が穏やかで、初心者の自分でも十分楽しめた。また参加したい」と笑顔で話してくれました。

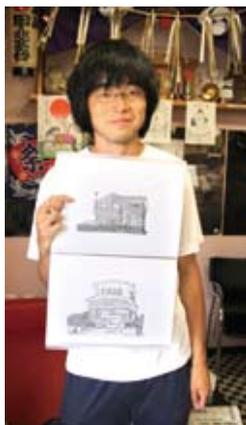


地元中学生が実行委員で活躍 大浦地域安全パレード開催

大浦地域安全パレードが7月23日、大浦地区で行われました。この催しは、霞露ヶ岳神社から大浦小までパレードを行い、防犯と青少年健全育成を呼びかけるもの。天候は曇り空でしたが、大浦小鼓笛隊に保護者や山田町防犯隊も加わり元気に行進しました。大浦地区では同パレードの実行委員に地元の中学生が立候補し、務めています。委員長の木村舞衣さん(山田中3年)は「しっかり地域安全を呼びかけられたし、大浦地区の『元気』も発信できた」と、無事やり遂げたことにほっとした表情でした。

家に足生え町歩く！？ 美術家の村上さんが本町訪問

足の生えた家が道を歩いている——。このような不思議な光景が、7月7日から11日に掛けて町内で目撃されました。その正体は、全国各地の家の絵を描く旅をしている美術家の村上慧さん(25)。そのきっかけについて「東日本大震災で、我々の生活が住所という固定されたものの上に成り立っていることに気付いた。住所に縛られない、別の視点で日本を見たかった」と言います。三陸沿岸を訪れての感想を伺うと「地形に起伏があり、面白いアングルで家を描ける」と興奮気味に語ってくれました。



町民グランド仮設でカラオケ大会 住民主体となって交流事業

7月13日、山田体育館において「町民グランド仮設カラオケ大会」が開催されました。同大会は、町民グランド仮設住宅の住民が主体となって毎月第2日曜日に行っているもので、今回で17回目となります。同仮設住宅に住む大宮好子さん(64)の軽妙な司会により大会がスタート。エントリーした20人が、同仮設住宅内外から詰めかけた観客らの前で自慢の歌と踊りを披露しました。大会中は、秋田県大仙市の餅(ライスボール)による餅つきや抽選会が実施され、参加者は音楽に食事に満足していました。



町のわたい

今月の題字 篠澤 麻衣さん（轟木小3年）



AKB48グループが4回目の公演 人気曲熱唱し思いを伝える

AKB48グループによる被災地を応援する「誰かのためにプロジェクト」のコンサートが6月28日、山田魚市場近くの特設会場で行われました。今回本町を訪れたのは、相笠萌さん、阿部マリアさん、北原里英さん、高柳明音さん、松井玲奈さん、松村香織さんの6人。コンサートでは「ヘビーローテーション」「恋するフォーチュンクッキー」などの人気曲を披露しました。会場に詰めかけた400人の観客は、熱い歌とダンスで大盛り上がり。公演の最後には、町を代表して2人から感謝の言葉が贈られるなどのサプライズがあり、メンバーも感激していました。



荒神海水浴場で震災後初の海開き 久しぶりの水の感触味わう

7月20日、町内で震災後初となる海開きが荒神海水浴場で行われました。海の安全を祈願する神事後、佐藤町長は「荒神海水浴場をきっかけとして観光の面からも復興に光が差してくれることを期待する」とあいさつ。当日はあいにくの小雨模様となりましたが、家族連れなどが水の感触を楽しんでいました。盛岡市から家族で訪れた藤澤佳行さん(38)は「ラジオで海開きを知り訪れた。子どもたちにとっては初めての海水浴。海がきれいなので砂遊びもできるのがいい」と満足気。エメラルドグリーンの海ではしゃぐ子どもたちに目を細めていました。

